

2023年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2023年2月13日
東

上場会社名 株式会社PKSHA Technology 上場取引所
 コード番号 3993 URL http://pkshatech.com/
 代表者 (役職名)代表取締役 (氏名)上野山 勝也
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員 経営管理本部長 (氏名)久保田 潤至 (TEL)03-6801-6718
 四半期報告書提出予定日 2023年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年9月期第1四半期の連結業績(2022年10月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第1四半期	3,199	20.4	815	15.4	478	37.8	437	25.8	187	3.6
2022年9月期第1四半期	2,657	24.7	707	83.0	346	33.5	347	47.0	181	51.1

(注) 1. 包括利益 2023年9月期第1四半期 378百万円(130.5%) 2022年9月期第1四半期 164百万円(47.7%)

2. 2022年9月期第3四半期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2022年9月期第1四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期第1四半期	6.14	5.95
2022年9月期第1四半期	5.93	5.75

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年9月期第1四半期	35,444	29,082	80.9
2022年9月期	35,799	29,255	80.6

(参考) 自己資本 2023年9月期第1四半期 28,669百万円 2022年9月期 28,851百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年9月期	—	—	—	—	—
2023年9月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年9月期の連結業績予想(2022年10月1日~2023年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,300	15.6	3,300	9.8	1,600	2.2	1,300	△16.2	500	△40.2	16.36

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年9月期1Q	31,150,000株	2022年9月期	31,104,000株
② 期末自己株式数	2023年9月期1Q	831,354株	2022年9月期	502,154株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年9月期1Q	30,553,696株	2022年9月期1Q	30,511,188株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(会計方針の変更)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 8
(企業結合等関係)	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「未来のソフトウェアを形にする」というミッションのもと、自然言語処理、画像認識、機械学習/深層学習技術を用いたアルゴリズムの研究開発、ソリューション提供、プロダクトの拡販による社会実装を進めております。

AI Research & Solution事業では、アルゴリズム・知能化技術の事業化を行っており、パートナー企業のニーズに合わせて共同研究開発からソリューションの提供までを一気通貫で実施しております。また、実オペレーションを通じた製品/サービス開発の一環で、IoT機器からリアル空間のデータをクラウド上に収集し顧客への価値提供を実現するサービスの開発を、駐車場機器の製造販売事業を通じて行っております。

AI SaaS事業では、AI Research & Solution事業におけるアルゴリズムの開発成果をもとに、汎用的なニーズに対応するプロダクトを販売しております。AI SaaSは「顧客接点」・「社内業務」領域で利用されており、人の業務を効率化し能力を拡張していく形で、ビジネス支援や企業の課題解決を実現しております。

当第1四半期連結累計期間は、AI SaaS領域における顧客基盤の拡大とプロダクトの機能拡充を目指す成長戦略のもと、AI SaaS事業下にある連結子会社間の協業の取り組みを推進してきた結果、AI SaaSの導入社数及び年間経常収益を着実に積み上げております。また、今後の成長に向けて優秀な人材の採用を進めるとともに、ソフトウェアプロダクトの強化や研究開発などの先行投資に注力してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は3,199,376千円(前年同四半期比20.4%増)となりました。これは主に、AI SaaS事業において各種プロダクトの販売が拡大したことによるものです。また、AI Research & Solution事業のモビリティ事業では引き続き新型コロナウイルス感染症の再拡大に対する潜在的リスクが意識されたものの、顧客である駐車場運営会社の新規駐車場開設及び機器導入は前年同四半期比で増加しました。

営業利益は478,012千円(前年同四半期比37.8%増)、経常利益は437,510千円(前年同四半期比25.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は187,546千円(前年同四半期比3.6%増)となりました。これは主に、売上高が増加したことに加え、収益性の高いAI SaaS事業の売上高構成比が高まったことによるものです。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

(AI Research & Solution事業)

AI Research & Solution事業につきましては、パートナー企業からのニーズに対応するアルゴリズムソフトウェアの研究開発やソリューション案件の売上が堅調に推移しました。また、モビリティ事業において、顧客である駐車場運営会社の新規駐車場開設への投資意欲が一部改善し、駐車場機器の販売が前年同四半期比で増加しております。

この結果、売上高は1,788,677千円(前年同四半期比16.8%増)、セグメント利益は256,779千円(前年同四半期比84.7%増)となりました。

(AI SaaS事業)

AI SaaS事業につきましては、AI SaaSの導入による業務の高度化・自動化を進めるニーズが拡大している環境の中で、自動応答エンジンを中心にAI SaaSの新規受注とライセンスの積み上げを進めてまいりました。AI SaaS事業下にある連結子会社間の協業の取り組みを推進し、新規顧客の獲得及び既存顧客への相互送客等を通じて売上ならびに利益の成長に繋げております。一方で、今後の成長に向けて人件費を中心とした積極的な先行投資を実施しております。

この結果、売上高は1,412,498千円(前年同四半期比25.3%増)、セグメント利益は440,215千円(前年同四半期比36.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は35,444,614千円となり、前連結会計年度末に比べ354,790千円減少いたしました。流動資産は14,761,618千円(前連結会計年度末比461,305千円減)となりました。主な減少要因は、受取手形、売掛金及び契約資産が218,360千円、その他が331,660千円増加したものの、現金及び預金が1,057,963千円減少したことによるものであります。また、固定資産は20,682,995千円(前連結会計年度末比105,614千円増)となりました。主な増加要因は、のれんが120,536千円、顧客関連資産が88,130千円減少したものの、投資有価証券が302,899千円増加したことによるものであります。

(負債の部)

当第1四半期連結会計期間末における負債は6,362,088千円となり、前連結会計年度末に比べ181,496千円減少いたしました。主な減少要因は、長期借入金が260,520千円減少したことによるものであります。

(純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は29,082,526千円となり、前連結会計年度末に比べ173,294千円減少いたしました。主な減少要因は、利益剰余金が187,546千円、その他有価証券評価差額金が181,396千円増加したものの、自己株式を558,416千円取得したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年9月期の連結業績予想につきましては、2022年11月14日に公表いたしました「2022年9月期 決算短信」に記載した内容から変更はございません。経営環境の動向を注視し、業績予想の修正が必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

なお、業績予想は、同資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,495,623	11,437,660
受取手形、売掛金及び契約資産	1,475,334	1,693,695
原材料及び貯蔵品	497,861	546,556
その他	769,717	1,101,378
貸倒引当金	△15,614	△17,671
流動資産合計	15,222,923	14,761,618
固定資産		
有形固定資産	1,312,316	1,343,305
無形固定資産		
のれん	5,464,157	5,343,621
顧客関連資産	5,084,520	4,996,390
その他	950,717	965,791
無形固定資産合計	11,499,395	11,305,802
投資その他の資産		
投資有価証券	6,732,180	7,035,079
繰延税金資産	836,610	801,861
その他	195,979	196,945
投資その他の資産合計	7,764,769	8,033,887
固定資産合計	20,576,481	20,682,995
資産合計	35,799,405	35,444,614

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	337,492	348,726
1年内返済予定の長期借入金	661,690	681,690
未払法人税等	179,292	264,075
契約負債	315,753	285,393
賞与引当金	81,430	126,255
その他	987,642	900,755
流動負債合計	2,563,300	2,606,895
固定負債		
長期借入金	3,067,800	2,807,280
繰延税金負債	811,916	845,551
その他	100,567	102,361
固定負債合計	3,980,283	3,755,192
負債合計	6,543,584	6,362,088
純資産の部		
株主資本		
資本金	49,295	52,760
資本剰余金	25,147,962	25,151,427
利益剰余金	4,256,679	4,444,225
自己株式	△1,197,416	△1,755,833
株主資本合計	28,256,520	27,892,580
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	595,297	776,694
その他の包括利益累計額合計	595,297	776,694
新株予約権	1,462	1,386
非支配株主持分	402,540	411,864
純資産合計	29,255,820	29,082,526
負債純資産合計	35,799,405	35,444,614

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年10月1日 至2021年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年10月1日 至2022年12月31日)
売上高	2,657,197	3,199,376
売上原価	1,346,591	1,543,136
売上総利益	1,310,606	1,656,239
販売費及び一般管理費	963,836	1,178,227
営業利益	346,769	478,012
営業外収益		
受取配当金	31,618	32,693
受取家賃	2,031	1,168
その他	1,898	3,189
営業外収益合計	35,548	37,051
営業外費用		
支払利息	11,507	9,874
株式交付費償却	6,520	—
持分法による投資損失	9,566	62,193
その他	7,067	5,485
営業外費用合計	34,662	77,552
経常利益	347,656	437,510
税金等調整前四半期純利益	347,656	437,510
法人税、住民税及び事業税	152,845	265,632
法人税等調整額	5,843	△24,992
法人税等合計	158,688	240,639
四半期純利益	188,967	196,871
非支配株主に帰属する四半期純利益	7,960	9,324
親会社株主に帰属する四半期純利益	181,006	187,546

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	188,967	196,871
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△24,861	181,693
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△297
その他の包括利益合計	△24,861	181,396
四半期包括利益	164,105	378,267
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	156,145	368,943
非支配株主に係る四半期包括利益	7,960	9,324

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)	合計
	AI Research & Solution	AI SaaS	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,531,435	1,125,762	2,657,197	—	2,657,197
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	1,500	1,500	△1,500	—
計	1,531,435	1,127,262	2,658,697	△1,500	2,657,197
セグメント利益	139,019	322,482	461,501	△114,732	346,769

(注) 1. セグメント利益の調整額△114,732千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない四半期連結財務諸表提出会社の一般管理費であります。

2. 前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、「注記事項(企業結合等関係)」の「比較情報における取得原価の当初配分額の重要な見直し」に記載の暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映された後の金額となっております。

当第1四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)	合計
	AI Research & Solution	AI SaaS	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,788,677	1,410,698	3,199,376	—	3,199,376
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	1,800	1,800	△1,800	—
計	1,788,677	1,412,498	3,201,176	△1,800	3,199,376
セグメント利益	256,779	440,215	696,994	△218,982	478,012

(注) セグメント利益の調整額△218,982千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない四半期連結財務諸表提出会社の一般管理費であります。

(企業結合等関係)

(比較情報における取得原価の当初配分額の重要な見直し)

2021年5月31日に行われた株式会社PKSHA Associates (旧社名 株式会社アシリレラ) との企業結合について、前々第3四半期連結会計期間から暫定的な会計処理を行っていましたが、前連結会計年度に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、前第1四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において、取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映されました。

この結果、前第1四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書は、顧客関連資産償却額が64,967千円増加し、のれん償却額が28,373千円、法人税等調整額が22,471千円減少しました。これらに伴い、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益が36,594千円、四半期純利益が14,122千円、非支配株主に帰属する四半期純利益が4,249千円減少しております。

なお、のれんの償却期間は10年、顧客関連資産の償却期間は11年です。

(比較情報における取得原価の当初配分額の重要な見直し)

2021年6月30日に行われた株式会社PKSHA Communicationとの企業結合について、前々第3四半期連結会計期間から暫定的な会計処理を行っていましたが、前連結会計年度に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、前第1四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において、取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映されました。

この結果、前第1四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書は、顧客関連資産償却額が46,150千円増加し、のれん償却額が40,250千円、法人税等調整額が15,963千円減少しました。これらに伴い、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益が5,900千円減少し、四半期純利益が10,062千円増加しております。

なお、のれんの償却期間は15年、顧客関連資産の償却期間は20年です。